

## 巻頭言

田添 禧雄

1999年9月20日銀座教会において、日本ウェスレー・メソジスト学会設立総会を開催して以来13年を経ました。その間毎年継続して、総会・研究会を開催し、諸先生の講演・研究発表等を積み重ね、学会の使命である学術的交わりを深め、「ウェスレー・メソジスト研究」誌もこのたび第12号を発行するにいたりました。初代会長の岩本助成先生のご指導によって基礎が固められ、会員の皆様のご協力とお祈りにより今日まで弛むことなく学会としての成長と発展をなしてまいりました。またウェスレー研究の重鎮であられる深町正信先生、山内一郎先生、岩本助成先生を顧問に頂いていることも感謝すべきことであります。また何よりも学会運営のために労してくださっている役員諸氏に感謝いたします。総会にご出席の方々にはお分かりいただいています。改めて学会役員をご紹介します。

私は名ばかりの会長ですが、役員諸氏のお働きによって会長を務めさせていただいております。副会長には、学会運営の細かな配慮をしてくださる野村誠氏（共愛学園前橋国際大学准教授）、学会便り、発送事務、会員動向の把握などに当る書記には、藤本満氏（イマヌエル綜合伝道団高津教会牧師）と林牧人氏（日本基督教団西新井教会牧師）、学会誌発行の中心的な役割をしてくださる学会誌編集担当には、坂本誠氏（ナザレン教団小岩キリスト教会牧師・ナザレン神学校教授）、馬淵彰氏（日本大学法学部准教授）、中井幸夫氏（日本基督教団安藤記念教会会員）、そして、会計には、石田聖夷氏（日本基督教団尾陽教会牧師）が当たり学会役員会を構成しております。年2回の役

員会のほか、常時メールによって連絡、意見交換、学会誌編集等々を行っております。学会誌も経費節減のため印刷所へはPDF入稿をしています。それぞれ大変お忙しい立場にある方々ですが、学会のために惜しまぬご労をとってくださっていることを感謝いたしますとともに、何よりも研究者としてよき業績をあげておられることに敬意を表したいと思います。なお、学会誌の発売元となっている（株）教文館のご協力にお礼申し上げます。

学会としても喜ばしいこととして、顧問の山内一郎先生が昨年11月3日、私学振興功勞により旭日重光章を受章なさいました。また馬淵彰先生が9月17日のキリスト教史学会第62回大会で、19世紀英国メソジズム運動の研究が認められ、2011年度学術研究奨励賞を授与されました。学会として心よりお祝い申し上げます。そして、藤本満先生はこのたびの教団総会でインマヌエル綜合伝道団代表に選任され重責を担われることとなりました。お働きのためにお祈り申し上げます。

さて、今年は、日本メソジスト教会初代監督本郷庸一先生召天100年記念の年であります。青山学院や本郷記念教会において様々な記念行事が行われます。学会においても、本郷庸一先生をはじめ日本メソジスト教会の歴史の研究をさらに重ねたいと思います。

学会誌第8号の巻頭言で、山内一郎先生が「メソジストの活動拠点が首都圏に集中している感があります。これからは全球（グローバル）時代、エキキュメンカルな潮流の中で、日本ウエスレー・メソジスト学会が各地の教会、メソジスト系学校との連携を強化し全国的な広がりを持って会員増加にも努め、健全な発展を遂げることを希ってやみません。」と述べておられますが、現状では多くを望むことは困難ですが、関西において講演会・研究会を開くこと、学会誌を全国の研究者に用いていただくことなどを検討することも一つかと思えます。

どうぞ、学会員各位には、ウエスレーの信仰を学び、メソジストのよき伝統を守るべく、日本ウエスレー・メソジスト学会が発展し、使命を果たし得ますよう更なるお祈りとご協力をお願いいたします。

（日本ウエスレー・メソジスト学会会長）